

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	1. 市役所関連施設の忘れ物傘の再利用(リユース)事業
2 回答部署	<p>総務部契約管財課 管財担当 電話番号 046-260-5311 メールアドレス kanzai@city.yamato.lg.jp</p> <p>環境部環境総務課 ごみ半減化推進担当 電話番号 046-260-5497 メールアドレス k-soumu@city.yamato.lg.jp</p> <p>市民経済部産業振興課 商業観光担当 電話番号 046-260-5134 メールアドレス sangyo@city.yamato.lg.jp</p>
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	<p>協働事業として進めていただくにあたり、次の点について検討いただきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市の協働事業であることを明示すること。
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	<ol style="list-style-type: none"> ① 協働事業として推進したい 2 協働事業への検討を継続 3 その他
5 理由 ・具体的に記述 (上記3に対する内容も記述)	<p>・市所有の物品の譲与(無償譲渡)にあたっては、条例では、公益上の必要がある場合としている。協働事業は、この要件に適用と考えられることから、忘れ物傘を遺失物法等に基づき拾得物として処理し、適法に所有権を取得した後、実施することは可能と考える。また、協働事業では、幅広い市民の理解と協力が不可欠であるため、当該事業の市民へのPRが重要と考えている。このため、協働事業として実施する際には、傘自体はもとより、店頭等での表示が必要と考えている。</p> <p style="text-align: right;">【契約管財課】</p> <p>・本協働事業は、ごみの減量化・資源化に資するものなので、環境部としても、PR等の面で支援していきたい。</p> <p style="text-align: right;">【環境総務課】</p> <p>・廃棄予定品を再利用することで、環境への負荷の軽減を図ることが出来る。</p> <p>・市民の環境や物に対する意識啓発に役立つ。</p> <p>・商店街が活動の中心となることで、市民と事業者との距離を近づけることが出来、商店街の活性化を図ることが出来る。</p> <p style="text-align: right;">【産業振興課】</p>

<p>6 今後の予定</p>	<p>・ 今後は、協定を早期に締結するため、関係各課と調整を図りながら、提案者と細部を詰めたい。</p> <p style="text-align: right;">【契約管財課】</p> <p>・ 本事業に関する情報を、環境部ホームページ「やまとの環境」などでPRする。</p> <p style="text-align: right;">【環境総務課】</p> <p>・ 二条通り商店街振興組合エコ倶楽部が、環境に配慮した傘のリユース事業を市と協働で行うにあたって、協働事業であることを示すタグ等を製作する経費の見積もりを作成する。</p> <p style="text-align: right;">【産業振興課】</p>
<p>7 その他</p>	<p>忘れ物傘の譲与については、所有権の取得が条件であるため、当面は本庁舎を考えているが、その他の施設についても、施設管理者の協力を得ながら、可能な限り対象を拡大したいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">【契約管財課】</p>

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	2. 市民へのより良いスポーツ環境の提供
2 回答部署	生涯学習部スポーツ課 体育企画担当
	電話番号 046 - 260 - 5762
	メールアドレス sport@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	<p>提案の趣旨を踏まえ、次の点について検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市の総合型地域スポーツクラブの方向性の検討を進めること ・スポーツ関係の公共施設の運営のあり方について市民参加を得た検討を進めること
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	<ol style="list-style-type: none"> 1 協働事業として推進したい 2 協働事業への検討を継続 3 その他(総合型地域スポーツクラブ創設についての検討を継続)
5 理由 ・具体的に記述 (上記3に対する内容も記述)	<p>このたびの提案につきましては、限られた公共施設を特定団体に定期的に確保できる状況にないこと、また総合型地域スポーツクラブの創設については、提案者、行政担当課とも事業計画・予算なども具体的に提示できない状況である。</p> <p>よって現時点では、大和市における総合型地域スポーツクラブの在るべき姿や経費負担の分担、または市民へ提供するための事業メニュー及び種目協会との関係調整などが成熟していないため協働事業としては取り組むことが困難であると考えている。</p> <p>現在のところ本市では、市内11地区に存在する地区体育振興会や学校開放事業実施委員会を中心とした総合型地域スポーツクラブ創設の可能性を模索している段階であり、本市の実情にあった総合型地域スポーツクラブとはどのようなものかについて情報収集や研究に努めている。</p> <p>既存スポーツ施設の効率的な運用については、現在行っているスケジュール会議を活用するとともに有効な利用方法について検討している。</p>
6 今後の予定	<p>大和市における総合型地域スポーツクラブの創設についての具体的なスケジュールを示すことはできませんが、今後は地域団体との情報交換・研修会・指導者研修への参加支援を積極的に展開し、提案者の総合型地域スポーツクラブに対する知識なども参考とさせていただきながら平成22年度の創設を目指している。</p>
7 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	3.出張教室からひろがる温暖化を考える会
2 回答部署	環境部環境総務課 環境政策担当
	電話番号 046-260-5493
	メールアドレス k-soumu@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	提案者が熟度を高めていくために次の点を検討いただきたい。 ・情報提供をはじめ、提案者の相談に継続的に応じること
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	1 協働事業として推進したい 2 協働事業への検討を継続 ③ その他（今後とも、提案者に対する情報提供の場を設けるとともに、相談にも随時対応を行う）
5 理由 ・具体的に記述 （上記3に対する内容も記述）	・提案者の目指す姿については共感しているが、その過程としてどのような形で協働していくことができるか、具体的に見えない。 ・このため、市内の環境団体が多く出展する「環境立市フェア」に出展いただき、市民の実情を把握するなどの情報提供の場を設けると共に、相談にも適宜対応し、どういう協働が有効なのかを見極める必要がある。
6 今後の予定	平成17年11月5日、6日 環境立市フェアに出展予定。 (今後もイベント等の情報についても提供していく)
7 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	4. つきみ野けやき並木再生に向けて
2 回答部署	土木部土木総務課 計画調整担当 土木管理課 維持補修担当
	電話番号 046 - 260 - 5406
	メールアドレス d-soumui@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	提案の趣旨を踏まえ、次の点について検討いただきたい。 ・地元検討プロジェクトにおいて十分な議論を進めること
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	1 協働事業として推進したい ② 協働事業への検討を継続 3 その他
5 理由 ・具体的に記述 〔上記3に対する内容も記述〕	提案内容については、協働事業にふさわしい内容であると考えているが、街路樹の落葉等による悪影響や景観上の観点等から他樹種への植替えや維持管理の工夫を要望している方々も存在している。そこで、地域における街路樹のあり方を決定するために関係者が参画する「つきみ野けやき並木道検討プロジェクト会議」を立ち上げ、検討を進めている最中である。 したがって、ここで決定された街路樹のあり方に基づいて、協働事業を展開していくことが望ましいと考えていることから、協働事業については、検討を継続するべきであると考えている。
6 今後の予定	・平成17年7月23日第1回「つきみ野けやき並木道検討プロジェクト会議」 ・会議を重ね、11月頃までに、一定の方針を出し、来年度予算に反映させたい。
7 その他	・協働事業として、行政提案である「道路環境美化ボランティアの里親制度(アダプトプログラム)」の利用も検討する必要がある。

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	5. つるま自然の森 緑育事業 緑を育て、緑で育つ
2 回答部署	環境部水と緑課 みどり推進担当
	電話番号 046 - 260 - 5450
	メールアドレス midori@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	提案者の活動支援に向けて、次の点について検討いただきたい。 ・水と緑課としてできることは、継続して行うとともに、森にかかわる団体との話し合いの場を設け、提案者が想いを実現していくための支援を行うこと
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	1 協働事業として推進したい ② 協働事業への検討を継続 3 その他
5 理由 ・具体的に記述 (上記3に対する内容も記述)	今回、協働事業として実現しなかった原因として、提案までに時間的な余裕がなく、関係する課等との調整が行われなかったことが考えられる。このため、来年度以降の実現を目指して、調整を継続することで提案者と合意した。
6 今後の予定	・9月から毎月1回、提案者と話し合いを持つ。 ・相模原市境の柵のうち、痛みの激しい部分を今年度中に改修する。 ・南側入り口付近に、掲示板を設置する予定。 ・提案者が保全活動を行う際に必要とする機材については、可能な限り貸し出し等の対応をする。
7 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	6.カラオケとふれあいの場「ミニディサロン」
2 回答部署	保健福祉部高齢者福祉課 サービス相談担当 電話番号 046-260-5612 メールアドレス kourei@city.yamato.lg.jp
	保健福祉部障害福祉課 療育相談担当 電話番号 046-260-5666 メールアドレス s-fuku@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	提案者が熟度を高めていくにあたり、次の点について検討いただきたい。 ・課題解決に向けた継続的な協議をしていくことで、協働事業として育てていただきたい
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	1 協働事業として推進したい ② 協働事業への検討を継続 3 その他
5 理由 ・具体的に記述 (上記3に対する内容も記述)	・高齢者や障害者の方の閉じこもりを予防し、楽しく過ごすことは、高齢社会を迎えるに当たり重要なことであり、協力できる部分はあると思うので、協働事業への検討を継続していきたい。 ・協働事業としての位置づけを明確に整理するとともに、ふれあいの場を利用する方々も含めサービス内容を検討していく必要があると考えている。
6 今後の予定	・上記の課題を整理しながら、引き続き、事業提案者との話し合いを進めていきたい。
7 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	7. 空き店舗活用による子どもの居場所作り
2 回答部署	保健福祉部児童育成課 児童福祉担当 電話番号 046-260-5607 メールアドレス ikusei@city.yamato.lg.jp
	市民経済部産業振興課 商業観光担当 電話番号 046-260-5134 メールアドレス sangyo@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	提案者が熟度を高めるにあたり、次の点について検討いただきたい。 ・商店街にとって魅力ある提案内容を組み立てていくために、継続的な協議を進めることで、協働事業として育てていただきたい。
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	1 協働事業として推進したい ② 協働事業への検討を継続 3 その他
5 理由 ・具体的に記述 （上記3に対する内容も記述）	<p>・提案者の現在の活動の実績については、一定の評価をしている。今後さらに子育て支援センターで実施している「にこにこ広場」などの事業への参加を通し、利用者のニーズに応えられるような事業内容の検討をし、併せて商店街にとって魅力ある事業にするための内容の検討をおこなっていただきたい。</p> <p>・子育て中の親子が気軽に集える場所は、身近な地域にあるとよいと考えており、空き店舗などの活動拠点が決まれば、開催事業への保育士や保健師等の派遣を行うなどして、協働事業として推進していきたい。</p> <p style="text-align: right;">【児童育成課】</p> <p>・子育て支援は地域社会における重要な課題の一つであり、地域コミュニティの一部である商店街がその役割の一部を担うことは、地域及び商店街の活性化の観点からも意味のあることだと考えている。</p> <p>・空き店舗活用に対する補助金については、商店街自身の自己負担も発生する。そのため実際に事業を立ち上げるにあたっては、確実な資金計画を作成することが何よりも重要となる。</p> <p>・事業のパートナーとなる商店街のやる気を引き出すためにも、具体的かつ確実な事業計画を立てる必要がある。</p> <p>・現状ではまだ資金計画、事業計画ともに不十分な面があり、今後その熟度を高めていく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">【産業振興課】</p>

<p>6 今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者との情報交換、施設見学等を実施していきたい。【児童育成課】 ・先行事例の情報提供を通じて、事業計画・資金計画の熟度を高めていく。 ・提携候補となる商店街に対して情報を提供する。【産業振興課】
<p>7 その他</p>	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	8.新体操教室
2 回答部署	生涯学習部スポーツ課 体育企画担当
	電話番号 046-260-5762
	メールアドレス sport@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	<p>提案の趣旨を踏まえ、次の点について検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市の総合型地域スポーツクラブの方向性の検討を進めること ・スポーツ関係の公共施設の運営のあり方について市民参加を得た検討を進めること
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	<ol style="list-style-type: none"> 1 協働事業として推進したい 2 協働事業への検討を継続 3 その他(総合型地域スポーツクラブ創設についての検討を継続)
5 理由 ・具体的に記述 (上記3に対する内容も記述)	<p>このたびの提案につきましては、限られた公共施設を特定団体に定期的に確保できる状況にないこと、大和市における新体操競技の市民ニーズが未確認であるなど事業提案者の将来展望が成熟しておらず、また総合型地域スポーツクラブの創設については、提案者、行政担当課とも事業計画・予算なども具体的に提示できない状況である。</p> <p>よって現時点では、特定団体(大和市体操協会)の活動に限定した提案であると思われるため、協働事業として取り組むことは困難であると考えている。</p> <p>現在のところ本市では、市内11地区に存在する地区体育振興会や学校開放事業実施委員会を中心とした総合型地域スポーツクラブ創設の可能性を模索している段階であり、本市の実情にあった総合型地域スポーツクラブとはどのようなものかについて情報収集や研究に努めている。</p> <p>既存スポーツ施設の効率的な運用については、現在行っているスケジュール会議を活用するとともに有効な利用方法について検討している。</p>
6 今後の予定	<p>大和市における総合型地域スポーツクラブの創設についての具体的なスケジュールを示すことはできませんが、今後は地域団体との情報交換・研修会・指導者研修への参加支援を積極的に展開し、平成22年度の創設を目指している。</p>
7 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	9. 高齢者の体力作り支援事業
2 回答部署	保健福祉部高齢者福祉課 サービス相談担当
	電話番号 046 - 260 - 5612
	メールアドレス kourei@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	協働事業として進めていただくにあたり、次の点について検討いただきたい。 ・受講者のアフターケア及びメンタルケアも含めた事業体制
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	① 協働事業として推進したい 2 協働事業への検討を継続 3 その他
5 理由 ・具体的に記述 (上記3に対する内容も記述)	高齢者の介護予防は、今後ますます重要であり、施設が地域の中で、高齢者の相談、機器を用いた筋力向上、そして日常行える体力づくりのための事業を実施することは有意義であると考えている。
6 今後の予定	平成17年10月5日開始に向け、数回事前打合せを持つとともに、参加者の募集を進める予定である。
7 その他	高齢者福祉課として、事業提案者に対して、 専門的な情報提供 事業評価 全体の進行 参加者の心身評価 等について支援する予定である。

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	10.まほろば子ども文芸大賞
2 回答部署	教育総務部指導室 指導担当
	電話番号 046-260-5210
	メールアドレス shidou@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	・教育委員会として、後援などどのような連携が可能か検討いただきたい。
4 基本的考え方 ・該当番号に ・その他は、内容を記述	1 協働事業として推進したい 2 協働事業への検討を継続 ③ その他（学校へのPRなど「後援」という形で連携をすることが可能であると考えている）
5 理由 ・具体的に記述 （上記3に対する内容も記述）	各学校において編成される教育課程は、公教育の立場から法令により種々の定めがなされている。たとえば、授業に関しては、国が定めた標準授業時数、学習指導要領に基づき、計画的に進めなければならないという面がある。特に、学校5日制実施後は、少なくなった授業時数の中で、定められた学習内容を確実に理解させることを社会的にも要請されている。 また、教育課程の編成権は学校長にあり、年間計画等は職員会議で話し合わせ地域や学校の実情に応じて学校長が決定するものである。 したがって、子どもたちが時間的余裕を有する中で、自主的に、興味関心やアイデアを生かしたり、根気強く取り組んだりする活動に関しては、夏季休業中など教育課程外に行われる各種作品募集に対して(教育的に問題がないもの)、教育委員会では積極的に応募することを支援している。 学校教育という枠組みの中であって、提言の趣旨を生かすためには、学校へのPRなど「後援」という形で連携をすることが可能であると考えている。
6 今後の予定	
7 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	12. 「防犯マニュアル」作成事業
2 回答部署	市民経済部 安全なまちづくり課 防犯地域コミュニティ担当
	電話番号 046 - 260 - 5162
	メールアドレス anzen@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業として進めていくにあたり、次の点について検討いただきたい。 ・応募者との検討を進める中で提案内容の熟度を高め、協働事業としてよりふさわしい形にしていくこと ・警察や教育関係者を含めた検討をすること。
4 基本的考え方 ・上記3に対する内容を記述	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会で応募者から提案があった、「防犯交流会」を実施し、協働事業としてふさわしい形に進めている。 ・応募者により「防犯マニュアル作成チーム」を設置し、その中で、警察や教育関係者などの意見やノウハウなどを取り入れ防犯マニュアル作成に活用していく。
5 公開検討会後の経過及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・9月6日(火)、6月の意見交換会で提案があった「防犯交流会」を開催し、48団体約70名が参加。各自治会や防犯ボランティア団体等の参加者に、防犯マニュアル作成事業を説明し、参加募集を行ったところ、10件の応募申請があった。 ・9月13日現在、計14件の応募申請が出ている。 (今後の予定) ・10月中旬、応募者による「防犯マニュアル作成チーム」を設置し、マニュアルづくりを開始する。 ・10月27日(木)市防犯協会主催の「防犯講演会(リレートーク)」に参加し、各地域の防犯活動団体と意見交換するなど、体験型のマニュアルづくりを進めていく。 ・月2、3回のペースで作成会議を開催する。(警察署、被害者、教育関係者、防犯設備士などにも参加していただき、意見やノウハウを収集する) ・3月、「防犯マニュアル」の完成予定。
6 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	13. 道路環境美化ボランティアの里親制度 (アダプト・プログラム)
2 回答部署	土木部 土木管理課 管理担当
	電話番号 046 - 260 - 5403
	メールアドレス d-kanri@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	協働事業として進めていくにあたり、次の点について検討いただきたい。 ・応募者との検討を進める中で提案内容の熟度を高め、協働事業としてよりふさわしい形にしていくこと
4 基本的考え方 ・上記3に対する内容を記述	協働事業として団体・企業の意見を取入れた内容で実施するため ・道路環境美化活動要綱及び活動マニュアルに基づき、活動内容を協議し、お互いの合意により行う。 ・サインボードは、団体・企業と話し合いにより内容を検討しながら作成する。 ・活動範囲内の公共施設となる道路に植樹帯があり街路樹を養子にし、街路樹に個人名を付けることについて、里親名(団体・企業の名称)を掲載し、個人名を載せることは可能であると考えている。
5 公開検討会後の経過及び今後の予定	申込は4団体 ・つきみ野まちづくり委員会 ・NTT 東日本神奈川県中央営業支店 ・たのしい会(老人会), 大和秋香会(菊作りの会) ・東京電力(株)相模原支社大和営業所 この他に、2団体が来年度から活動する予定がある。 活動開始時期については、10月から実施を予定している。
6 その他	協働事業として、アダプト・プログラム(里親制度)は、市内全域の道路歩行者専用道、駅前広場を美化活動の対象範囲としているため、活動を希望する団体・企業があれば随時申込を受付。

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	14.“ふくしの手 全員集合”
2 回答部署	保健福祉部 福祉総務課 福祉政策担当
	電話番号 046 - 260 - 5605
	メールアドレス f-soumu@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	<p>協働事業として進めていくにあたり、次の点について検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募者との検討を進める中で事業内容を具体化していくこと
4 基本的考え方 ・上記3に対する内容を記述	<ul style="list-style-type: none"> ・「人材発掘」「人材育成」をテーマに、意見交換や情報交換を行い、「人材発掘」「人材育成」に関する課題、問題点の整理、確認を行う。 ・課題、問題点の解決に向けた解決策の検討と役割分担の整理、確認を行う。 ・「人材発掘」「人材育成」の『Q&A book(仮称)』の策定に向けた検討を行う。 ・「人材発掘・人材育成」モデル事業の実施に向けた検討を行う。 ・市社協主催「地域福祉フォーラム」への参画に向けた検討を行う。
5 公開検討会後の経過及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8月10日(水)に、「NPO 法人 想」「社会福祉法人 敬愛会」「ボランティア パパボラやまと」「市社協ボランティアセンター」の代表者が集まり、第1回目となる「打合わせ会」を開催。 ・9月29日(木)に、第2回目となる「打合わせ会」の開催。 ・協定締結後は、月1回のペースで「ふくしの手 調整会議」の開催を予定。 ・平成18年1月から2月にかけて、「人材発掘・人材育成」モデル事業の開催を予定。 ・平成18年3月に開催される「地域福祉フォーラム」への参画に向けた検討を行う。
6 その他	

協働推進会議提言に対する検討結果

1 提案事業名	15. 資源とごみの出し方変更に関する市民説明会 協働開催事業
2 回答部署	環境部 環境総務課 ごみ半減化推進担当
	電話番号 046 - 260 - 5497
	メールアドレス k-soumu@city.yamato.lg.jp
3 提言「具体的に検討を要請する事項」の内容	協働事業として進めていくにあたり、次の点について検討いただきたい。 ・応募者との検討を進める中で提案内容の熟度を高め、協働事業としてよりふさわしい形にしていくこと
4 基本的考え方 ・上記3に対する内容を記述	説明会資料の内容や、説明会でのプレゼンテーション方法について、応募者と検討しながら協働で作成する。 また、説明会の運営においても、応募者に参加していただき、市民の側に立った改良案をいただくことにより、より良く、分かりやすい説明会の実施を目指したい。
5 公開検討会後の経過及び今後の予定	今後、応募者と説明会内容について検討していく。
6 その他	